

水野先生、お元気ですか？全国の子育てに悩む
ご家庭の為に毎日お忙しくお過ごしのことと思います。
先生のご指導のおかげで息子は高校に進学出来ました。
家の雰囲気も明るくなり、息子と主人がプロ野球の話で
盛り上げている様子を見ると、とても幸せな気持ちになります。

水野先生、先生、先生には、遠く我が家まで、
何度も足を運んでいただき全力でご支援いただいた事を、
どれだけ思っても足りないほど感謝の気持ちでいっぱいです。
本当にありがとうございました。支援卒業のこの機会に今更
ご支援いただいた1年半を振り返って考えてみたいと思います。

息子は、小学校、中学校入学時 腹痛などの体調不良
を訴え、小学校では数日、中1の時は2週間学校を休みました。
小学生の時は父親が厳しく叱り、その後は登校出来ました。
しかし中学生になった息子に同じやり方は通用しませんでした。
親子の信頼関係がしっかり築けていない状態でしたので、息子に
何を言っても反発されるだけでした。この時は学校の協力も得て
短期に復学出来ましたが、それは一時的な「対処」でした。

私はこの時から、子育てにも、自分自身にも自信を無くしました。そして以前よりも息子への干渉を強めていきました。その結果息子をイライラさせ、同レベルの言い争いをくり返すうち、私に対しては子供上位になってしまいました。

中学2年の体育祭の練習が始まったころ、「疲れた。」と言って塾を休んだり、体調不良を理由に学校を時々休むようになりました。ある日、クラスメイトに、体育祭で使う持ち物に落書きされた事をきっかけに、朝に起きると体調が悪くなり、続けて学校を休むようになりました。息子と話した結果、私達が出した結論は、「体育祭本着は休んで、いから、その後は登校しなさい。」という事でした。(これが誤りだった事は今では良くわかります) 体育祭が終って数日は登校しましたがある日、担任の先生とのささいな行き違いから、息子が先生に不信感を持つ出来事が有り「俺、明日から学校行かないから。」と宣言をし、完全不登校へと変わっていきしました。この時、私達は息子を問いつめ、怒鳴ったり、泣いて親の気持ちを一方向的に押し付けました。そうするうち息子は親にも、先生にも

じを閉ざしていました。そんな息子に対して解決策は無く
時間はどんどん過ぎて行きます。日がたつにつれ、家族を避ける
ように、昼夜逆転の生活になり、ほとんどの時間を自分の部屋に
閉じこもるようになります。目つき顔つきが変っていく息子を見るのは、
今まで感じた事がない位、重く、悲しく、フラッ気持ちでした。

息子の為に私が出来る事は無いか、と、インターネットで情報を
集めました。そして復学支援を受けられた方のブログから、
ペアレンツキャンプにたどりつく事が出来ました。

水野先生から支援して下さいというお返事をいただいた時には、
復学できる事がやっと想像できるようになり、私の心に火が
ぽつとともった。そんな気持ちでした。先生との電話カウンセリング
では、その時々おる事に対し、的確なアドバイスをいただきました。
又、メンタル面でも私の大きな支えでした。

家庭ノートは、私の幼い対応や先回りの多い会話が
有りたくさんご指摘いただきました。今迄ずっとこのような、
過保護、過干渉な子育てをしてきた事に気づきました。
家庭での対応をPCMに添って変えていった結果、息は自ら
考えて行動するという変化が見られるようになりました。

しかし同じクラスで親しかった友人も同じ時期に不登校に
なり、息子はその子を使い分けにして、不登校への問題意識は
低いままでした。友人も不登校であるというイレギュラーな状態
でしたが水野先生の教育コーチングのおかげで、「学校へ行きます。
今までいじ配かけてごめんねさ。」という言葉が息子の口から
聞く事ができました。先生とメンタルフレンドさんには
息子のメンタル面へのサポートやスムーズに復学できるための準備を
していただきました。息子と一緒に復学したいと言った
友人も一緒に面倒をみていただき本当にありがとうございました。
おかげさまで息子は友人とともに5ヶ月ぶりの登校を果たす
ことが出来ました。私がその日外へ出て見ると景色も明るく
清々しく感じました。息子はどう感じたのでしょうかね。

復学後の継続登校は、発熱以外の体調不良で1ヶ月に1.2回
休んだり、水泳の授業をさぼっていたりと色々ありましたが
水野先生には突発的に起こる問題に、的確なアドバイスを
いただきました。おかげさまで私達親は、様々なパターンへの
対応を先生から教えていただきました。

息子も日を追う毎に登校が当たり前になって来ました。復学をご支援いただいたおかげで中学校生活最後の学年で体育祭に出る事ができました。息子が友達と笑顔で話したり、競技に真剣にとりこんでいる姿を見て感動で胸が熱くなりました。一緒に復学した友人も、体育祭に参加して楽しそうな笑顔をしていました。息子も友人も復学出来て、本当に良かったと思いました。本当に本当にありがとうございました。

支援を卒業し、これから息子が社会に出るまでのあと数年間、自任達で親としてのサポートをしていきます。水野先生に元に戻してもらった親子の関係を崩すことのない様、夫婦で力を合せてがんばっていきます。この一年半、お世話になりました。時々、様子を報告させてくださいね。

ノアレンツキャンプの皆様の手続きのご活躍をお祈りしています。

2012年5月20日